ちょっといい山　2018/4/8/SUN

日陰ツツジ咲く静かな山・五大山 569.1m

山の虫クレマントクラブ（略称 YMCC）　川原健一　　同行：川原薫

10月6日　金　晴れ

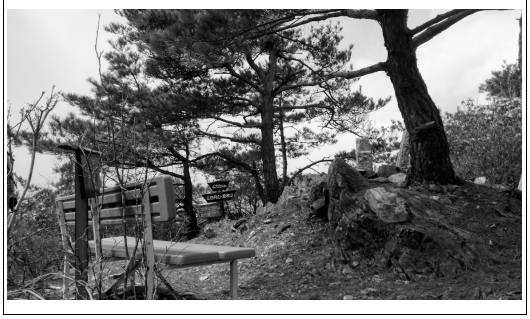
五大山は丹波市市島町・白豪寺の背後に位置する里山である。アプローチはマイカーが便利だが、公共交通機関ならば JR 市島駅まで乗ると、そこから徒歩一時間で百毫寺である。

登山口は幾つかあるが、里山にしては踏み跡が少ない。地形図によると白毫寺先の墓地から登山道が伸びているように見えるが、すぐに獣避けフェンスに遮られる。墓地を出て元の道をもう少し進むと鉄製の大きなゲートに又もや行く手を阻まれる。これも獣避けで、落とし込みの錠を二つ抜いて開けることができる。右手に採ると道は涸れ沢沿いに伸びて行くが、地形図上では稜線手前で途切れている。これは植林道であるし、先程からの登山道と地形図のありようからすれば、先々に道があるかいかにも心許ない。したがって、涸れ沢を右手へ渡り、喬木の尾根に取りつく。わずかに踏み跡らしきものがあり、それは何となく稜線へ続いていそうだ。しばらく歩くと植林地となり、稜線の道を踏んだ。

日陰ツツジ

標高 330m 辺りから本日目当ての日陰躑躅ひかげつつじが出現する。里山で黄色い花は珍しいが、日陰躑躅は惜しげもなく薄黄色の花を見せてくれる。時折、コバノミツバツツジの鮮やかな桃色が映える。このコントラストはこの辺りの春山の醍醐味である。稜線の北麓に永郷池が深緑の水をして静かに横たわり、それを背景にさらに日陰ツツジが映える。タムシバの花も今が盛りだ。

花の纏わる岩を巻き、やがて山頂に至る。松の木の下にベンチが設えてある。夏ならば涼しい風に吹かれて、木陰でしばしお昼寝と決め込んでもよいかもしれない。山頂からの展望は抜群で、遠く笠形山、千ヶ峰が望め、近くには城山、その向こうにこれも日陰ツツジで有名な向山と眺められる。いつものようにお湯を沸かし、カップラーメンを食べながらこれらの展望を楽しむ。

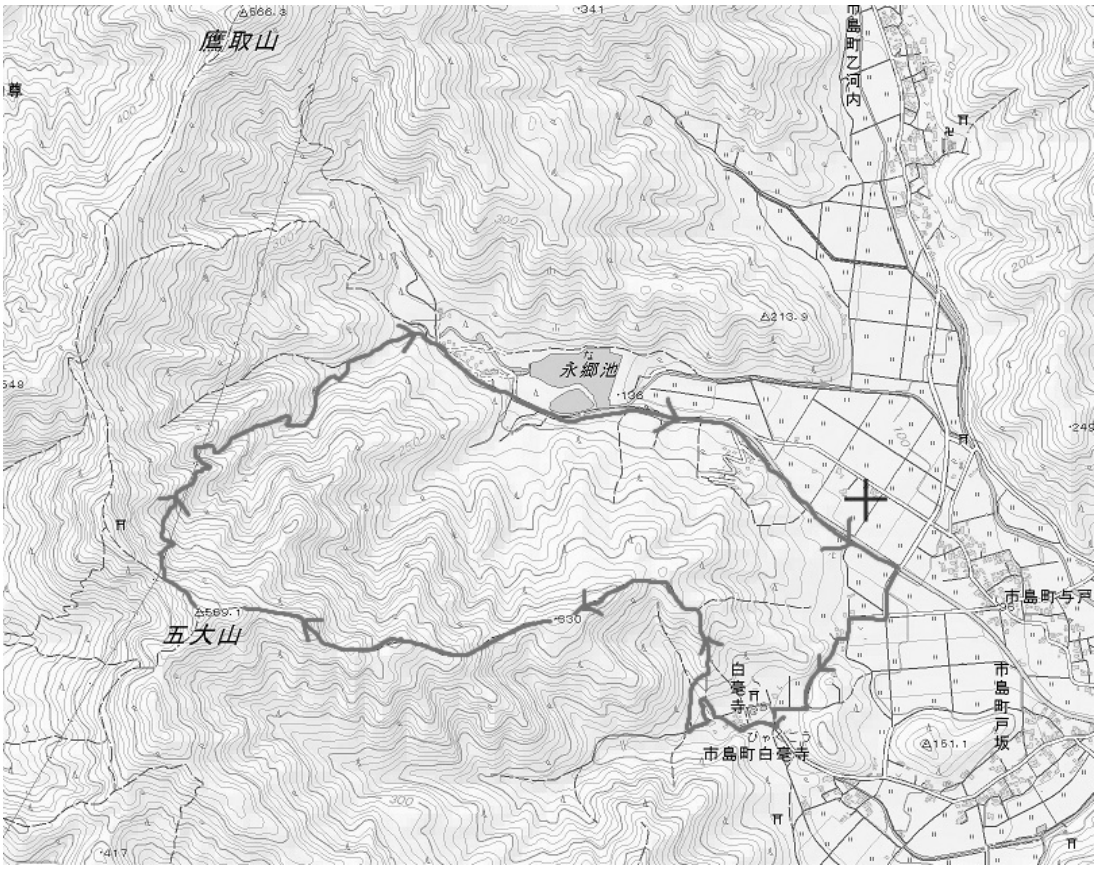


山頂のたたずまい

小一時間をここで過ごし、写真も撮ったので山頂を後にする。帰りは北方歩く。愛宕山を越え、鷹取山を越えると、五台山へと縦走ルートが伸びるが、今日は縦走はせず、愛宕山手前の鉄塔のコルから右手へ下ることにする。最初からあまり踏まれていない道は途中で崩れていたり、踏み跡が消えたりする廃道と言ってもおかしくないルート。下界に近づくにつれて沢筋の道が現れ、やがて林道に出た。

百毫寺P　10:10
12:04　五大山　13:00
15:18　百毫寺P

市島
エデン牧場
59
市島町与戸
▲五大山
569
283
市島町白毫寺
春日町池尾
138
市島町戸坂
175
南油良
春日町山田
▲千丈寺山
346
春日町多田
200
天王坂
春日町古河
▲城山
357
氷上高
285
春日町黒井
黒井
北近畿豊岡自動車道
Japan,(C)ZENRIN
(C)Yahoo Japan


鷹取山
永郷池
五大山
市島町与戸
白毫寺
市島町白毫寺
市島町戸坂